

グループホーム

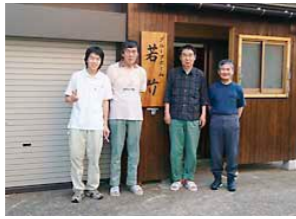
共同生活援助・介護事業

地域で暮らす支援

障がいを持つ人たちが、作業所などで自分が働いて得た給料と障がい者年金のみで自立して暮らせる生活環境を提供しています。

グループホーム 若竹

障がいを持つ人たちが共同生活を営むグループホーム。NPO法人が運営する障がい者のグループホームとしては県内第1号です。



ケアホーム 逢坂の家

全室バリアフリーで車椅子の方も入居されています。



グループホーム やすらぎの家

平成20年8月に県の指定を受け認可施設となりました。



グループホーム みずならの家

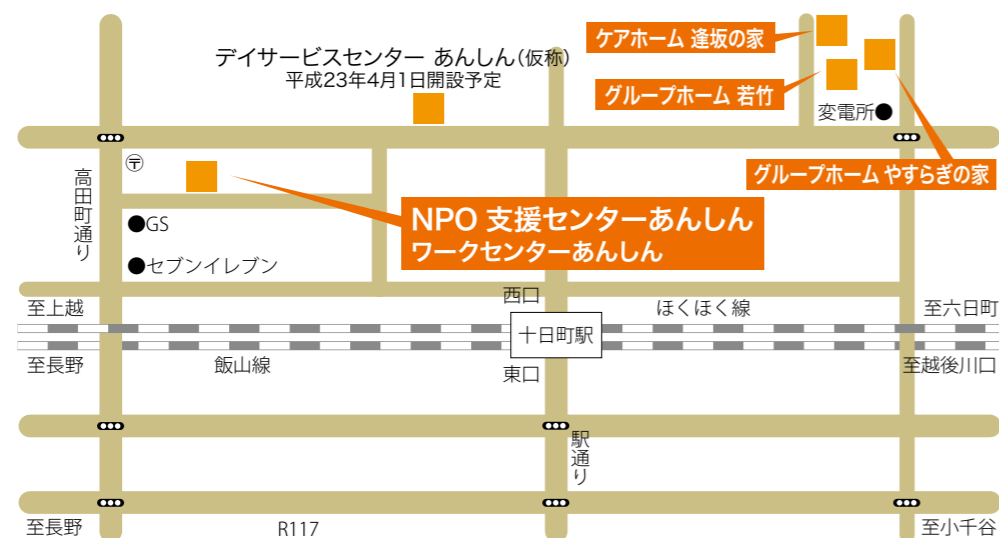
平成21年11月1日に県の指定を受け認可施設となりました。



児童送迎サービス



十日町市の委託を受けて、小出養護学校ふれあいの丘分校の児童送迎を行っています。



NPO法人 支援センター あんしん

〒948-0065 新潟県十日町市子371
TEL (025) 757-5511 FAX (025) 757-1144
<http://mx51.et.tiki.ne.jp/~ansin/>

多機能型事業所 ワークセンター あんしん (就労継続支援B型)

障害者サービスセンター あんしん (生活介護・地域生活支援事業)

日中一時支援

グループホーム

児童送迎サービス



NPO法人
支援センター あんしん

障がい者福祉サービス事業所ワークセンターあんしん

就労継続支援事業B型

障がいがあるため就職することが困難な方々が、地域社会において自立した生活を送ることができるように様々な作業を提供しています。

親亡き後、障がい者が自立するには障がい者年金プラス2～5万円の給与が必要となります。そのための働く場がどうしても必要なのです。



ワークセンターの活動

トイレトペーパー製造

私たちの工場のトイレトペーパーは、新しいパルプを一切使用せず、再生が難しい雑古紙を再利用しています。障がいのある方やボランティアが中心となって、お客様に満足して頂けるよう一所懸命がんばって作っています。



福祉施設の清掃、高齢者介助の研修、クロネコメール便配達、クリーニング、融雪事業所の作業補助、ゴミ分別や外仕事などの仕事も行っています。

あんしんらんどりー

十日町市荒屋あ410番地 TEL (025) 763-4488



運営する事業

会長 本田 欣二郎

副会長 樋口 功 他理事 8名

正職員 7名 臨時・パート・ボランティア職員70名

所在地 十日町市子371 (高田町3丁目)

電話 025-757-5511

1. 多機能型事業所 ワークセンターあんしん

所長 柳 茂男 定員40名

(1) 就労継続支援事業B型

(ア) 主たる事業所ワークセンターあんしん

所在地 十日町市子371 (高田町3丁目)

定員24名 生活支援員2名 職業指導員7名

(イ) 従たる事業所 あんしんらんどりー

所在地 十日町市荒屋あ410番地

定員6名 生活支援員1名 職業指導員1名

メンバー4名

(ウ) 生活介護事業所 ディサービスセンターあんしん

所在地十日町市子371番地 (高田町3丁目西)

2. 生活介護、地域生活支援事業(ディサービスセンターあんしん)

利用者が自立した日常生活又は社会生活を営む事ができるように、入浴、排泄及び食事の介護。生産活動の機会を提供し毎日いきいきと過ごせるようサポートします。

3. 日中一時支援

児童の一時預かり支援サービス。

4. グループホーム

障がいを持つ人たちが、自立して暮らせる生活環境を提供。

・グループホーム 若竹

平成19年に県の指定を受け認可施設となりました。NPO法人が運営する障がい者のグループホームとしては県内第1号です。現在6名が入居中。

・グループホーム やすらぎの家

平成20年8月に県の指定を受け認可施設となりました。現在5名が入居中。

・グループホーム みずならの家

平成21年11月1日に県の指定を受け認可施設となりました。現在5名が入居中。

・ケアホーム 逢坂の家

平成21年4月1日に県の指定を受け認可施設となりました。現在4名が入居中。

障がい者ディサービスセンターあんしん

生活介護事業
地域生活支援事業

重い障がいを持つ方にも安心して充実した毎日をいきいきと過ごせるように多彩な支援メニューでサポートします。

個別活動

利用者一人ひとりに合わせて作成した「個人ケア計画」もとに短期目標と長期目標を設定して、さまざまな活動を行っていきます。みんなが目標に向かってがんばっています。

入浴サービス

ひのきの香りのお風呂です。毎日午後から利用できます。

休日余暇支援

温泉やカラオケ、ミニキャンプ、りんご狩り、書道教室など、普段なかなかできない活動が盛りだくさん。

外出・お買物

外出や季節ごとの行事を通じて自立を促します。なかでも月に1回のお買物はみんなの楽しみのひとつです。



日中一時支援

保護者の方が出掛ける時などの一時預りや、春、夏、冬休み中の児童対象の支援サービスです。

学童児童の放課後や早い出勤のお母さん方のためのお預りも行なっています。



沿革概要

平成14年

11月 1日 小規模作業所(支援センターあんしん)開所式

平成15年

4月 1日 小出養護養護学校ふれあいの丘分校児童の通学送迎開始(十日町市・川西町・中里村よりの委託事業)

6月24日 新潟県勤労者福祉財団よりNPO助成事業の100万円助成決定(トイレトペーパー製造機械及び設置工事費の一部)

7月10日 地域福祉を考える情報誌「あんしん」創刊号発行

11月 1日 十日町市子371番地に工場を借りトイレトペーパーの製造開始

平成16年

7月20日 障害者支援費制度基準該当居宅支援事業所登録申請(十日町市・津南町・川西町・中里村・松代町・松之山町)

9月 1日 知的障害者ディサービス事業開始

10月23日 午後5時56分発生した中越大地震(震度6強)によりワークセンターあんしんの被害が甚大。幸い地震の発生が土曜日の夕方であったため利用者、職員とも施設内にいなかったため人的被害は免れた。地震発生後余震が続き全市民に避難勧告がだされる(10月31日解除)。

11月 1日 ワークセンター作業及びデイサービスを再開
ワークセンターの建物は半壊し利用できる状態でないため隣接の「まごころの家」を借りて作業再開する。

平成17年

1月12日 ワークセンターの建物を購入(100万円)、改築。土地について賃貸借契約

5月26日 ワークセンターあんしん再建開所式・祝賀会

10月10日 クロネコヤマトのメール便配達業務をワークセンターで取り組み開始

平成19年

4月 1日 就労継続支援事業B型「ワークセンターあんしん」開始

6月 1日 共同生活援助事業「グループホーム若竹」開始

7月 1日 日中一時支援事業(十日町市・津南町)開始

平成20年

8月24日 グループホームやすらぎの家開始

平成21年

4月 1日 共同生活介護事業「ケアホーム逢坂の家」開始

11月 1日 共同生活援助事業「グループホームみずならの家」開始

平成22年

4月 1日 多機能型事業所(就労継続支援事業B型)・(生活介護援助事業)開始